

平成29年度津山市生涯学習関連事業実施報告

基本目標	基本施策	事業数
I 学ぶ 学びを通じた自己実現	1 生涯学習の啓発推進と学習機会の充実	52件
II 活かす 学んだ知識や経験の活用	2 学びを支え、つなげる人材の育成・活用	9件
III つなぐ 人、地域、世代を結ぶつながりづくり	3 生涯学習を通じた持続可能なまちづくり	48件
IV 創る 希望あふれるまちづくり	4 生涯学習を推進するための基盤整備	8件
	5 希望あふれるふるさと津山の創造	21件
合 計		138件

事業の評価結果	事業数	%
A (達成している 95%以上)	108 件	78.3%
B (ほぼ達成している 80%以上)	18 件	13.0%
C (概ね達成している 60%以上)	5 件	3.6%
D (達成していない 60%未満)	5 件	3.6%
※ (評価できない。その場合は備考欄に理由を記載)	2 件	1.5%

平成29年度 生涯学習関連事業実施報告書

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H29実績 (参加人数等)	H29計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
1	4	津山市、美作大学及び津山高専との包括連携協定に基づく協力	3者の経営資源を相互に活用する事業を検討及び実施し、単独では達成できない事業効果を生むことを目的とする。これにより、地域産業の振興や市民の文化、学術レベルの向上に繋げるもの。	津山市、美作大学、津山高専	年間	市内各所	学生、一般市民	138件	136件	政策調整室	A	
2	3	自主防災講座	災害による被害を軽減するためには、個人での備え(自助)や助け合い(共助)が重要であり、講話を通じて防災意識の高揚を図る。	津山市	随時	各町内会公会堂等	地域住民	975人 (17回)	20~250人/回 (10回)	危機管理室	A	行政が防災意識の啓発をおこなっている効果もあり、津山市民の防災意識も相当に高くなっていると思われる。年間に17回の出前講座は、十分に目標達成と言える。
3	1	さん・さん祭り	男女共同参画社会について考える場を提供するとともに、その実現をめざして活動する登録団体の交流と活動発表を実施する。 合わせて男女共同参画センター「さん・さん」が実施する事業の紹介とPRを行う。	津山市	10月21・22日	津山男女共同参画センター「さん・さん」他	一般市民	2,827人	3,000人	人権啓発課	A	当日台風21号の影響により終了時刻を2時間切り上げ。本来の終了時刻であれば参加予定者数の95%(2,850名以上)を超えたと仮定しA判定とする。
4	1	「さん・さん」セミナー	男女共同参画に関する現代的な課題に対応した学習機会の提供を行う。自分自身について考え、自己決定を促すための講座等を開催する。	津山市	7月1日・8月11日・8月19日・9月2日・12月3日・1月13日(AM・PM)・2月18日・2月21日・2月25日・3月11日	津山男女共同参画センター「さん・さん」・市立図書館	一般市民	のべ432人 (11回)	30人/回	人権啓発課	A	平均39人/回
5	1	「さん・さん」おんな・おとこ塾	男女共同参画に関する現代的な課題に対応した学習機会の提供を行う。実習などの参加型の講座を開催する。	津山市	4月23日 3月18日	津山男女共同参画センター「さん・さん」・中央公民館	一般市民	のべ25人(2回)	10~40人/回 (講座の内容による)	人権啓発課	C	・4/23男性料理教室…募集人数8名に対し、参加者6名 ・3/18男性保護者向け料理教室…募集15組に対し、参加者19名(8組)
6	1	人権を考える市民のつどい	人権尊重の理念についての普及・高揚を図ることを目的に、毎年度開催している。 人権週間(12/4~12/10)	津山市・津山市教育委員会	11月26日	グリーンヒルズ津山リージョンセンター	一般市民	200人	300人	人権啓発課	C	演題:「世界がもし100人の村だったら~あなたもその1人です~」 講師:池田香代子(ドイツ文学翻訳家、口承文芸研究者) 事前申込なしの当日参加。例年と変わらぬ入場者数であった。
7	1	人権教育出前講座	すべての場に、人権が自然な形で溶け込んでいくような社会を作り上げるために、企業や団体、町内会の集まり等へ、講師の派遣を行う。	津山市	随時	市内一円	一般市民	603人	500人	人権啓発課	A	
8	1	租税教室	地方税関係機関と国税関係機関が協力し、税務署管内市町村の租税教育の推進と充実を図るため、小中学校へ税務職員を派遣し租税教室を実施するもの。	津山税務署管内租税教育推進協議会(津山市を含む)	1月18日 1月24日 1月26日 1月30日	秀実小学校 向陽小学校 広戸小学校 鶴山小学校	児童・生徒	152人	200人	税制課	C	次代を担う児童・生徒に租税の意義や役割を正しく理解してもらうため津山税務署管内の小中学校を対象に租税教室を実施。 本市に割り当てられた市内4小学校の6年生へ租税教室を開催。
9	5	水の学校	小学生に市内の河川で水生生物や水質の調査を体験させるとともに、水環境への関心を高め水質汚濁防止を図る。	津山市	8月19日(土)	加茂川、宮川	小学生及び保護者	25人	50人	低炭素都市推進室	D	市内小学校3~6年生を対象に事前周知を図ったが、参加人数が減少した。PTA行事と日程が重なった小学校があったこと等が要因と考えられる。次年度は学校行事の把握により一層努め、参加人数の増加を図る。

平成29年度 生涯学習関連事業実施報告書

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H29実績 (参加人数等)	H29計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
10	5	森の学校	市民が、森で生物観察、間伐、炭焼きなどの活動を体験できる機会を提供し、森林資源と環境への関心を高め、山林の保全を促す。	津山市	11月26日(日)、 2月25日(日)	久米山	小学生及び保護者	58人	50人	低炭素都市推進室	A	想定以上の参加者があり、多くの方に環境体験学習を受けていただくことができた。
11	3	親子エコフェスタ2017	地域における環境問題や地球温暖化防止活動について考え、環境保全意識の高揚を図る。	親子エコフェスタ実行委員会	6月11日(日)	津山圏域クリーンセンター	子供から高齢者まで幅広い年齢層の方	500人	600人	低炭素都市推進室	B	H28年度までは、アルネ津山・中心市街地で開催されていたが、アルネ津山の改修工事のため、H29年度は津山圏域クリーンセンターに開催場所が変更されたことなどもあり、参加者が減少した。
12	3	消費生活公開講座	消費者被害から身を守るため、知識や対処法を学ぶ。	津山市	12月16日	グリーンヒルズ津山・リージョンセンター	一般市民	50人	90人	環境生活課	D	詐欺・悪質商法評論家である多田文明氏を講師に招き、「悪質商法にだまされないために」と演題で講演会を開催した。昨年度、1月開催したため、大雪の影響で参加者が少なかったため、1ヶ月早めたが、年末であったことに加えて、他のイベント等もあったため、想定したより参加者が少なかった。
13	3	地域交流促進事業	各種教室講座を開催し生涯学習の機会の提供に努め市民相互の交流促進を図る。 【講座内容】 健康体操教室、ヨガ教室、料理教室、ふれあいバスツアーなど	津山市・各会館	随時	福岡会館 加茂中原会館 公郷会館 大久保会館 柳会館	一般市民	4439人	4000人	生活福祉課	A	館長と、愛育委員や町内会が協力し、教室・講座の企画開催を行う事により、多数の参加者による継続的な事業実施ができた。また会館区域外からの参加者もあり、市民相互の交流促進に寄与できた。
14	2	ふれあい作品展	障害者(児)が、絵画、作品等の作製を通じて創作の喜びを味わい自らの障害を克服する勇気と能力を育てる。あわせて社会の障害に対する正しい認識を深める。	ふれあいスポーツ大会実行委員会	12月4日～8日(障害者週間平日)	市役所市民ホール	津山地域の障害者・障害児・福祉関係者・一般市民	620人	350人	障害福祉課	A	障害者(児)が、絵画、作品等の作製を通じて創作の喜びを味わい自らの障害を克服する勇気と能力を育てる良い機会となった。あわせて社会の障害に対する正しい認識を深める場となった。また、今回は、ヘルプマーク・ヘルプカードの導入をあわせて行い、その周知を図った。
15	2	ふれあいスポーツ大会	三障害者合同でスポーツ大会を開催。ボランティアとの交流により障害者に対する知識・理解を深める。	ふれあいスポーツ大会実行委員会	6月18日(日)	津山総合体育館	津山地域の障害者・障害児・その家族ボランティア・福祉関係者	310人	300人	障害福祉課	A	三障害者合同でスポーツ大会を開催した。当事者にとって身体を動かす良い機会となったとともに、ボランティアとの交流により障害者に対する知識・理解を深める場となった。
16	2	ふれあい村	三障害者合同で障害者と市民とのふれあいの場を設定。障害者に対する正しい理解を深める。	ふれあいスポーツ大会実行委員会	10月15日(日)	津山市役所東側駐車場	津山地域の障害者・障害児・その家族ボランティア・福祉関係者・一般市民	400人	450人	障害福祉課	B	三障害者合同で障害者と市民とのふれあいの場を設定し、障害者に対する正しい理解を深める良い機会となった。今回は、雨天であったため、来場者が前年度を下回った。
17	3	認知症ささえあえるまちづくり事業	認知症を正しく理解し、支え手として出来ることを考え気づくことにより、地域住民の意識変容や行動変容を引き出せるよう支援する。認知症になっても安心して暮らせるまちづくり、地域で見守り支えあう事の出来る仕組みづくりを目指して実施する。	津山市地域包括支援センター	随時(2回1コース、8カ所程度)	各町内会の公会堂等	一般住民	講座 30人(1カ所) 訓練267人(2地域他)	160人	高齢介護課	A	地域へ出向いての出前講座1回の他、「認知症あったか声かけ模擬訓練」を新たに実施。訓練は、地域住民を対象に2回(173人)、キャラバンメイトを対象に1回(23人参加)、ケアマネジャーを対象に1回(71人参加)開催した。計画参加予定数を上回り、A判定とする。

平成29年度 生涯学習関連事業実施報告書

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H29実績 (参加人数等)	H29計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
18	3	めげせ元気!!いけないからだ講座	介護予防や閉じこもり防止のため、各町内会の公会堂を単位として講座を実施する組織を育成し、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で顔なじみの人たちとともに自分らしくいきいきと生活を送ることが出来るようにしていくことを目的として実施する。	高齢者を中心とした地域住民	毎週1回	各町内会の公会堂等	高齢者等	3,809人	4,030人	高齢介護課	B	実施グループ数は199グループから202グループへ増えたが、グループの高齢化等により参加者数は3,809人と計画参加予定委人数に達しなかったため、B判定とする。
19	3	おぎやっと21in津山	新しい命の誕生を祝福し、健やかな成長を社会全体で支援し、子どもたちの可能性を通して豊かな社会を築いていくための参加型・提案型のイベント。	はぐくみ岡山実行委員会	10月21日(土)	グリーンヒルズ津山リージョンセンター	乳幼児親子、妊婦夫婦等	5,000人	5,000人	こども課	A	子どもの健やかな成長を社会全体で支援し、子どもたちの可能性を通じた参加型イベントを開催し、5,000人の参加があった。
20	3	ブックスタート事業	本との出会いを通じ、乳幼児親子のふれあいを深めることをめざす。	津山市	年24回(乳児健診実施時)	「津山すこやか・こどもセンター」健診室	乳児親子	794人	850人	こども課 健康増進課 図書館	B	赤ちゃんと保護者が、絵本を通じて心ふれあうひとときを持つきっかけとして、乳児健診時に絵本や紹介冊子を配布した。参加人数は794人となった。
21	2	ファミリー・サポート・センター運営事業 (子育てサポート講座等)	サポート活動・子育てのための情報提供・知識・技術習得のため。	津山市	年4回程度	男女共同参画センター「さん・さん」他	ファミ・サポ会員及び一般市民(社会人・高齢者)	のべ90人(4回)	80人	こども課	A	平均22.5人/回
22	3	ファミリー・サポート・センター運営事業 (クリスマス交流会等)	会員間の親睦と一般市民向けファミリー・サポート・センター事業の周知のため。	津山市	年3回程度	男女共同参画センター「さん・さん」他	ファミ・サポ会員及び一般市民(乳幼児・小学生・社会人・高齢者)	のべ140人(4回)	150人	こども課	A	平均35人/回 12月16日に開催したクリスマス交流会が定期的に体調不良の方が多く、当日欠席者が20人以上あったため予約人数を加味しA判定とする。
23	3	栄養教室	健康づくりへの関心を高め、地域の食生活改善や健康増進を推進するリーダーの養成講習として開催・調理実習・体験学習・講演	津山市	年間7回	津山市中央公民館	栄養委員	のべ270人(7回)	44人/回	健康増進課	A	7回実施。参加者は地域で伝達講習会を開催した。7回の合計40時間のうち、8割以上出席で修了という基準があるため、延参加者数の8割以上を評価基準と考え、A判定とする。
24	3	ノルディックウォーク体験	第2次健康つやま21計画に基づき、身体活動・運動の領域において、健康情報を気軽に入手でき、身近に運動できる仲間が増え、運動を習慣的に行う市民が増えることを目的に、ノルディックウォーク教室を開催する。	津山市	6月15日 6月19日 7月25日 9月24日	植木公会堂 佐良山公民館 高倉公民館 勝北文化センター	津山市民	のべ100名(4回)	10~20人/回	健康増進課	A	市内4カ所で開催し、計画人数を上回る参加者となった。
25	5	津山まなびの鉄道館	津山に遺された鉄道遺産を後世に伝えていくことにあわせて、鉄道の成り立ち、社会や地域とともに発展してきたあゆみ、しくみの変遷について紹介し、社会や地域の発展と鉄道との関わりについて学ぶことを目的とする。	津山市観光協会	通年	津山まなびの鉄道館	一般市民	72,697人	—	観光振興課	A	暮らしに深く関わっている鉄道の成り立ち、社会や地域とともに発展してきたあゆみ、しくみの変遷など、鉄道に関する学習の推進に寄与した。

平成29年度 生涯学習関連事業実施報告書

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H29実績 (参加人数等)	H29計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
26	2	津山市人づくり事業	津山地域の若手経営者、後継者候補、経営幹部の方などを対象に、経営的視点を養い、地域を担うリーダーを養成することを目的とする経営能力開発講座をはじめ、産業人材の育成を図る「つやま産業塾」を運営する。	津山市人づくり事業運営委員会	経営能力開発講座: 4/14,5/12,6/ 9,7/14,8/18,8 /25,10/20,11 /17,12/8,1/1 9,2/16,3/9 プロフェッショナルコース: 1/12,1/26,2/ 9,2/23,3/30 市民公開講座: 1/20	アルネ・津山4階 地域交流センター 他	津山市民あるいは、津山市内の企業の従業員等	産業塾(経営能力開発講座) 18人~19人/回 産業塾(プロコース)4人/回 市民公開講座 85人	産業塾20人/回 市民公開講座 50人	みらい産業課	A	産業塾の経営能力開発講座は経営幹部等を対象に経営に必要な基礎スキルの習得を目的として、毎月1回開催。講師、講義内容も各回で異なる形式で開催しており、今年度で22期目となる。 同塾のプロフェッショナルコースは経営者を対象に経営に必須の高レベルなスキルを5回コースで開催。今年度は「経営戦略力」を学んだ。 市民公開講座は一般市民向けの無料セミナーとしており、今年度は街づくりの観点で開催。
27	5	農業体験学習	農業体験を通じ、農業の大切さ、食の安全性等について、小学校、JA、生産者団体等関係各機関・団体と連携し推進する。	小学校	【田植え】 6月5日、6月6日、6月12日 【稲刈り】 9月11日、9月26日、9月27日、10月4日、10月11日	各小学校周辺の田及び畑	小学生(2年生、5年生)	のべ897人 (8回)	のべ950人	農業振興課	B	昨年の参加人数が993人であったことから、評価基準値を950人としていたが、本年は児童数が少なかったため、達成度は94.4%となった。
28	5	森林環境学習出前講座	森林の有する多面的機能や森林整備の必要性等に対する理解と関心を深めるため、出前講座を実施する。	津山市	随時	学校等	小・中・高生	小学校30人 高校のべ30人 (4回)	1回	森林課	A	加茂小学校6年生の児童・保護者で市有林での植林体験実習や、勝間田高校での出前3回の出前講座をとおり、森林・林業の大切さをアピールした。
29	5	夏休み親子下水道教室	下水道の仕組みと働きを楽しく学び、人と水の関わりについて考えることにより、下水道の接続促進を図る。	津山市	8月4日	大阪市下水道科学館ほか	下水道供用区域内の小学校4年生の親子20組	40人	40人	下水道課	A	下水道科学館などの見学により、下水道の仕組みや役割を理解し、生涯学習のきっかけ作りとなった。定員20組に対して29組の応募があり、抽選となったことからA判定とする。
30	5	重要伝統的建造物群保存地区制度解説講座	城東伝建地区における各種規制・緩和措置等の制度説明や実施事業の概要を解説することにより、地区住民の意識向上や制度の円滑な運用に資する。	津山市	6月22日	城西公民館	市民	15人	10~30人/回	歴史まちづくり推進室	A	これから伝建地区選定を目指す城西地区の住民に対して伝建地区における規制や事業の解説を行った。今後の参考にしたいだけのもと考えており、A判定とする。
31	3	地域づくり人材育成事業	地域づくりの担い手を掘り起こし、行政との協働のまちづくりの核となる次世代の人材を育成する。	津山市	9月3日 11月26、27日 12月14日 2月18日 3月28日	市内等	市民団体	5団体	5団体	協働推進室	A	地域の魅力向上施策を学ぶための視察、講演会の実施、在住外国人も含め、異文化の相互理解へ向けた地域づくり講演会等、各地域・諸団体からの申請があった。
32	2	国際交流ボランティア研修会	国際視野を持ったグローバル人材育成、多文化共生に向け国際化に関する理解を深める。	津山市	12月23日	津山市立図書館視聴覚室	一般市民、国際交流サポートネット登録ボランティア	28人	70人	協働推進室	D	元青年海外協力隊員を講師に招き、発展途上国と先進国をつなぐ「フェアトレード」についての講演を通じて、世界の労働環境・賃金問題の格差について学んだ。

平成29年度 生涯学習関連事業実施報告書

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H29実績 (参加人数等)	H29計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
33	2	日本語講師研修会	市が設置している津山日本語教室の企画・運営をおこなっている「津山にほんごの会」のボランティア講師を対象とした、教授技術向上のための研修会	津山市	2月17日	津山総合福祉会館	成人	17人	15人	協働推進室	A	日本語ボランティア講師のスキルアップのための研修会。日本語普及協会から専属講師を招き、日本語初級者への指導方法を実践を交えた形式で実施。教材の紹介等もあり、新人ボランティア講師向けの研修会であった。
34	3	住民自治協議会	集落や町内会機能の維持が近い将来困難になることが予想される地域の住民と市が協働で集落等の機能の再編と地域活性化の取り組みを行う。	津山市	毎年	市内各所	市民	2団体	2団体	協働推進室	A	住民自治協議会事業の説明会の実施を行い、他地域での取り組み事例の紹介、中間支援NPOからの専門的なアドバイスを受け、計画した2団体の参加を達成した。
35	1	生涯学習講座（陶芸教室）	日々の生活にやすらぎと潤いを実感できるよう、市民を対象とした生涯学習講座(陶芸教室)を実施する。	津山市	毎月第2・4土曜日	まなび館	一般市民	のべ320人 (24回)	13人/回	加茂支所 市民生活課	A	参加者は月2回の講座に出席し、専門家の指導を受けながら毎回熱心に陶芸に取り組み、生涯学習活動の成果をあげることができた。
36	1	生涯学習講座（書道教室）	日々の生活にやすらぎと潤いを実感できるよう、市民を対象とした生涯学習講座(書道教室)を実施する。	津山市	毎月第1・3水曜日	加茂町公民館	一般市民	のべ200人 (24回)	8人/回	加茂支所 市民生活課	A	参加者は月2回の講座に出席し、専門家の指導を受けながら毎回熱心に書道に取り組み、生涯学習活動の成果をあげることができた。
37	1	生涯学習講座（手芸教室）	日々の生活にやすらぎと潤いを実感できるよう、市民を対象とした生涯学習講座(手芸教室)を実施する。	津山市	毎月第1・3月曜日	加茂町公民館	一般市民	のべ50人 (6回)	7人/回	加茂支所 市民生活課	※	参加者は月2回の講座に出席し、毎回熱心に手芸に取り組んだが、講師のやむをえない事情で6月末に閉講した。
38	1	生涯学習講座（歌声教室）	日々の生活にやすらぎと潤いを実感できるよう、市民を対象とした生涯学習講座(歌声教室)を実施する。	津山市	毎月第1木曜日	加茂町公民館	一般市民	のべ410人 (12回)	35人/回	加茂支所 市民生活課	A	参加者は毎月の講座に出席し、専門家の指導を受けながら毎回熱心に歌唱に取り組み、生涯学習活動の成果をあげることができた。
39	1	勝北陶芸の里	陶芸の親睦を図り、地域の工芸技術の向上に寄与するとともに、市民相互の憩いの場を提供する。子どもから高齢者、初心者から上級者まで楽しめる。世界にたった一つの作品を創作できる。	津山市・津山市教育委員会	月曜日、火曜日、 年末年始(12月28日～1月4日)を除く日	勝北陶芸の里	一般市民	1,781人	1,700人以上	勝北支所 市民生活課	A	
40	1	親子陶芸教室	親子で作品作りをし、陶芸に親しむ。	津山市・津山市教育委員会	年3回	勝北陶芸の里	中学生以下の子とその親	18組40人	15組40人	勝北支所 市民生活課	A	
41	1	子どもステージフェスティバル	地域の保育園や小中学校の学習の成果の発表や茶道・ダンス・風神太鼓・銭太鼓などの日頃の青少年育成講座の発表の場として開催する。	津山市	11月25日・26日(日)	勝北公民館 勝北文化センター	幼児・小・中学生	106人	100人	勝北支所 市民生活課	A	
42	1	勝北親子ふれあい事業	青少年の健全育成の一環として親子・地域住民の方々とふれあいの場として開催する。	津山っ子を 守り育てる 市民の会	7月29日(土)	勝北文化センター	幼児・小・中学生とその家族	60人	-	勝北支所 市民生活課	A	親子ふれあい事業として、はじめて「落語」を開催する。今までは「映画」を上映していたが予算の関係も考慮し開催した。予定人数を下回ってしまったが、「落語」を初めて聴く子ども達も多く、良い学習機会となったためA判定とする。
43	3	バンビ勝北	地域の指導者の自主的、主体的な活動を通して、子どもたちに学びの場を提供し、心身ともに豊かな人間関係を図る。	バンビ勝北 実行委員会	各教室により 曜日で 決めている。	勝北公民館 勝北文化センター	小・中学生	-	のべ700人	勝北支所 市民生活課	※	平成29年度より元氣ッひろばと統合したため。

平成29年度 生涯学習関連事業実施報告書

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H29実績 (参加人数等)	H29計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
44	3	元気ツズひろば	放課後、夏休み等を利用し、地域の子どもたちに様々な体験活動や家庭教育の支援を行い、夢を持ったたくましい子どもを地域で育てる。	元気ツズひろば実行委員会	7月～3月の水曜日・土曜日	勝北公民館 勝北文化センター	小・中学生	1,399人	のべ1,000人以上	勝北支所 市民生活課	A	
45	3	勝北シルバー大学	生活に関した講座や歴史研究(文化財めぐり)、研修視察旅行などを行い、社会的視野を広げるとともに生きがいのある生活をすすめる、シルバー大学生相互の親睦を深める活動を行う。	津山市	5/16 6/7 7/26 10/25 11/17 12/14 1/24 3/14	勝北文化センター ほか	65歳以上の高齢者	62人	70人	勝北支所 市民生活課	B	受講生の意見を取り入れながら、運営委員主導による講座開催が出来た。登録人数はやや減となったが、当初予定していた回数の講座や研修旅行も実施し、各回とも概ね好評をいただいている。 登録者数:62人
46	1	ミュージックフェスティバルイン久米	音楽を愛する子どもからお年寄りまで多くの方が、日ごろの練習の成果を発表する場として、また、世代間の交流が深まる楽しい演奏会として毎年開催するもの。	ミュージックフェスティバルイン久米実行委員会	12月10日	久米公民館	子どもからお年寄り	200人	150人	久米支所 市民生活課	A	新たな出演者も加わり、盛大に行われた。
47	3	格致大学	高齢化社会の中で若さを失うことなく仲間とともに学び、社会参加を積極的に進め、みずから現代社会に適応するための学習。	津山市	年間9回	久米公民館	概ね60歳以上	129人	120人	久米支所 市民生活課	A	老人クラブ連合会に声かけをし、会員数を増やした。
48	3	久米キッズクラブ	子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	久米キッズクラブ運営委員会	6月から1月の土曜日	久米公民館他	小中学校	40人	45人	久米支所 市民生活課	B	継続の参加者もあり、満足度は高い。
49	1	久米ふれあい陶芸センター	陶芸の振興を図り、地域の工芸技術の向上に寄与するとともに、市民相互の憩いの場を提供する。	津山市・津山市教育委員会	随時	久米ふれあい陶芸センター	一般市民	140人	150人	久米支所 市民生活課	B	高齢者の憩いの場にもなっており、満足度も高い。
50	3	阿波ふるさと祭り	恵まれた自然と農林業を活かし、地域住民と都市生活者など内外の人々とのふれあいを通じて、産業の振興と観光の発展を図り、更に地域の活性化を目指す。	阿波ふるさとまつり実行委員会	年1回 5月21日	阿波ふるさとふれあい会館	一般市民	3,500人	3,500人	阿波出張所 地域振興課	A	各自治会で特産品等を紹介、販売をし、また、森林公園においてイベントを開催するなど市内外の方々との交流、観光の発展、地域の活性化を図った。
51	3	阿波ふるさとふれあい納涼星空祭り	阿波地域住民の及び帰省客相互のふれあいと親睦をあわせて地域の活性化を図る。	阿波ふるさとふれあい納涼星空まつり実行委員会	年1回 8月13日	あば交流館 駐車場	一般市民	800人	1,000人	阿波出張所 地域振興課	A	地元の祭りとして実行委員会(各自治会)が協力し、販売ブースを出店したり、ステージイベント、花火300発の打上等を開催し、地域の活性化を図った。参加人数は基準を若干下回ったが、A判定とする。
52	3	選挙時臨時啓発	選挙管理委員会委員、明るい選挙推進協議会委員、市選挙管理委員会書記が、通行者に対し啓発グッズを配布しながら、投票日の周知や投票への参加を呼びかける。	選挙管理委員会	10月20日 2月9日	イオン津山店	一般市民	500人/回	500人	選挙管理委員会	A	10月の衆議院議員総選挙及び2月の市長選挙にて実施
53	3	新成人への選挙啓発	津山市成人を祝う会で選挙啓発パンフレット等を配布し、選挙や投票することの大切さについて理解を深め、意識の高揚を図る。	選挙管理委員会	1月7日	津山文化センター	新成人	754人	800人	選挙管理委員会	B	

平成29年度 生涯学習関連事業実施報告書

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H29実績 (参加人数等)	H29計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
54	3	高等学校への選挙出前授業	昨年夏の参議院選挙から「18歳選挙権」が実施され、高校3年生も投票することが可能となった。これに伴い、選挙管理委員会の職員が各学校に赴き、講義や模擬投票を行う「選挙出前授業」を実施することで、主権者教育の推進を図る。	選挙管理委員会	11月7日	美作高校	高校3年生	217人	500人	選挙管理委員会	D	2校は実施する見込みで、参加予定人数を500人と見積もったが、1校のみの実施に終わった。
55	3	「水道局の仕事」	リクエスト大学の講座として、小学校4年生の社会科の授業に出てくる内容に合わせて、水道局の仕事の内容と浄水のできるまでを、パンフレットとビデオで説明する。	水道局	随時	浄水場及びその他	小学生	727人	500人	水道局経営企画室	A	小学校4年生の社会科の授業に出てくる内容に合わせて、水道局の仕事や水の大切さについて理解を深めてもらう取組として実施している。目標の参加人数を大きく上回ったことからA評価とした。
56	3	「浄水場の仕事」	河川から取水した水が、安心して飲める水となるまでの工程や安全管理などを実際に見ていただいて、水道事業に理解を深めていただく。	水道局	通年	浄水場	一般市民ほか	103人	50人	経営企画室 小田中浄水場 草加部浄水場	A	一般市民を対象に、水道局の仕事や水の大切さについて理解を深めてもらう取組として実施している。目標の参加人数を大きく上回ったことからA評価とした。
57	3	水道週間啓発イベント	国民の水道に対する理解と関心を深めるため、毎年設定される「水道週間(6月第1週)」に合わせて、「水道なんでも相談」「水道アンケート」「ボトルウォーター(津山の水)の配布」等のイベントを開催する。	水道局	6月1日(木)	津山市役所 市民ホール	一般市民	350人	300人	水道局経営企画室	A	一般市民を対象に、水道事業について理解を深めてもらう取組として実施している。目標の参加人数を大きく上回ったことからA評価とした。
58	5	ふるさと学習推進事業「My Townつやま」	【目的】 地域に根ざした学びをすすめ、ふるさとを理解しふるさとを愛する心を培うことをねらう。 【内容】 学校や地域の特色を生かした取組を支援し、地域人材を活用するなど地域に密着した体験活動を行う。 ※「市内の6年生が洋学資料館・郷土博物館等を訪れるなど、地域の先人や伝統・文化の学習」を行う。	津山市教育委員会・各学校	平成29年度	各学校 各地域	児童生徒及び地域の人材	3,000人	3,000人	学校教育課	A	地域の方の協力もいただきながら、各学校や地域の特色を生かして、学校ごとに工夫した体験的な取組を行い、地域理解をすすめた。 市内の6年生全員が洋学資料館・郷土博物館等を訪れる機会を設け、地域の先人や伝統・文化の学習をめることができたので、A判定とする。
59	3	チャレンジ・ハッピーデー	【目的】 子どもたちの生活習慣を確立するとともに、家庭での有意義な時間の過ごし方が創造できることを目指す。 【内容】 毎月第4週を「チャレンジ・ハッピーデー」ウィークと定め、家庭での時間の使い方を振り返り、家族での会話・家事・読書・家庭学習をする等、有意義な時間が持てるよう呼びかける。 ※「ノーテレビ・ノーゲーム・メディアコントロール」	津山市教育委員会・各学校	平成29年度 毎月第4週 重点月間(5月・11月)	各家庭	児童生徒 保護者	9,000人	9,000人	学校教育課	A	本市独自に毎月第4週を「チャレンジ・ハッピーデー」ウィークと定め、家庭での時間の使い方を振り返り、家族での会話・家事・読書・家庭学習をする等、有意義な時間が持てるよう呼びかけた。また、5月と11月は重点月間として、家庭での生活時間を見直すよう働きかけをすすめた。各学校でも、家庭学習への意識が高まっているのでA判定とした。

平成29年度 生涯学習関連事業実施報告書

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H29実績 (参加人数等)	H29計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
60	5	つやまっ子・デビュー14	【目的】 キャリア教育の観点から、生徒の望ましい職業観や勤労観を育て、「生きる力」を育成することを目指す。 【内容】 学校・家庭・地域及び産業界が連携・協力を図りながら、各中学校2年生が職場体験を実施する。 ※「津山市内8中学校の中学2年生全員による3～5日間の職場体験活動」	津山市教育委員会・各中学校	平成29年度 5月(1校) 6月(4校) 9月(1校) 11月(2校)	各事業所等	生徒 保護者	1,000人	1,000人	学校教育課	A	本市内8中学校の中学2年生全員による3～5日間の職場体験活動を実施した。体験活動をとおして、自分の将来を考える機会ともなっており、大変有効であるのでA判定とした。
61	1	夏休み親子料理教室	親子で料理をすることにより、料理の楽しさを知り、調理の基礎知識を身に付け、食への関心を高めることを目的に開催する。	岡山県学校給食会 津山市学校給食会 保健給食課	7月27日 8月16日	戸島学校食育センター	小学生及びその保護者	50人	50人	保健給食課	A	
62	1	学校食育センター見学	戸島・草加部両学校食育センターの見学を通じて、学校給食への理解を深めることを目的に、希望に応じて実施する。	保健給食課	平成29年度 希望に応じて	戸島学校食育センター 草加部学校食育センター	小・中学生及びその保護者並びに一般市民	532人	400人	保健給食課	A	戸島センターで17回
63	3	朝食づくり講座	60・15キャンペーンの取組みとして、簡単にできる朝食づくりを親子で学び、健康づくりに欠かせない朝食の習慣化を図ることを目的に開催する。	津山市教育委員会 津山市PTA連合会	7月15日 10月21日 10月28日 11月18日 11月25日 1月13日	加茂中 津山東中 久米中・北陵中 鶴山中 勝北中・中道中 津山西中	小・中学生及びPTA会員	320人	300人	保健給食課 生涯学習課	A	
64	3	PTA研修会(小中学校)	津山市PTA連合会の全体研修	津山市PTA連合会	6月18日 8月18日 12月10日	津山文化センター、津山市東公民館	成人(PTA)	250人	100人	生涯学習課	A	PTA指導者を対象にして年3回研修会を開催し、指導者としての資質向上に努めた。
65	3	PTA研修会(幼稚園)	津山市幼稚園PTA連絡協議会の全体研修	津山市幼稚園PTA連絡協議会	10月26日	市内	園長・幼稚園PTA	178人	100人	生涯学習課	A	
66	4	学校支援地域本部事業	学校支援ボランティアを活用し、地域の教育力により学校を支援する仕組みづくりを構築する。	津山市教育委員会	通年	市内各小中学校、公民館等	一般市民	—	—	生涯学習課	A	各学校での支援のほか、公民館での学習支援など地域による子どもたちを見守り育てる取組ができた。
67	3	学校支援ボランティア制度の推進	生涯学習で見つけた経験や特技を、子どもたちや学校のために活かせる仕組みづくりを構築する。 また、ボランティアのスキルアップのための研修会や交流会を実施する。	津山市教育委員会	随時	市内各小中学校	一般市民	3,000人	3,000人	生涯学習課	A	生涯学習で見つけた経験や特技を、子どもたちや学校のために活かせる仕組みづくりを構築したほか、登下校時の見守り活動などを実施した。

平成29年度 生涯学習関連事業実施報告書

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H29実績 (参加人数等)	H29計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
68	4	学校支援ボランティア研修会	学校支援ボランティアの資質向上と学校支援地域本部の啓発を促進する。	津山市教育委員会	3月20日	市内	学校支援ボランティア等	18人	50人	生涯学習課	D	参加人数は少なかったが、ボランティアのスキルアップを目的に研修会・交流会を開催し、国の研修会に参加したときの内容を伝達したほか、各学校の取組みについて中学校ブロック毎に情報交換することができた。
69	4	社会教育関係者対象研修会	社会教育委員・教職員・行政職員を対象に社会教育活動において必要とされる指導者等の人材育成に努め、活動の一層の活発化を図られるようにする。	津山市教育委員会	6月16日 6月30日 11月20日 1月25日	津山ガス、津山リージョンセンター	社会教育委員、公民館長等	53人	50人	生涯学習課	A	社会教育委員、公民館長、行政職員を対象に社会教育活動で必要とされる資質向上に努めた。
70	3	英語暗唱大会	21世紀を担う中学生の英語に対する興味・関心と国際意識の高揚を図り、国際人としての基礎的人間性の育成に寄与する。	英語暗唱大会実行委員会	10月29日	市内	中学生	72個人・団体	50人	生涯学習課	A	中学生の英語に対する興味・関心と国際意識の高揚を図り、国際人としての基礎的人間性を育成した。
71	1	生涯学習に関する広報事業	生涯学習に関する機関・団体を含めた学習情報を収集し、提供する。ホームページ・CATVなどのメディアを活用し情報提供する。県生涯学習センターとの連携を図る。	津山市教育委員会	随時	社会教育施設	一般市民	-	-	生涯学習課	A	
72	3	家庭教育推進事業	基本的な生活習慣の乱れ、社会的規範意識の低下など、家庭教育力の低下が指摘されているなか、一人ひとりの親が家庭を見つめ直し、それぞれ自信をもって子育てに取り組むことができるよう、親に対する学習機会の提供を行う。	津山市教育委員会	随時	市内幼・保・小・中学校等	幼保、小中学生の保護者	6,069人	6,000人	生涯学習課	A	
73	3	家庭教育支援指導者研修会	子育てワークショップのファシリテーターやボランティアなど、家庭教育支援者の養成と資質の向上を図るため、研修会・交流会を開催する。	津山市教育委員会	5月20日 2月27日	市内	家庭教育指導者	80人	20人	生涯学習課	A	①子育てワークショップファシリテーター研修会&交流会(5月20日、39人)、②家庭教育・子育て支援関係者研修会(2月27日、41人)の2回開催。
74	4	公民館整備事業	公民館整備計画に基づき順次整備	津山市教育委員会	通年	広野公民館 田邑公民館 二宮公民館	-	-	-	生涯学習課	A	広野公民館：平成30年1月から供用開始。 田邑公民館多目的アリーナ：平成30年1月から供用開始。 二宮公民館：現公民館解体工事、造成工事を行った。
75	4	生涯学習推進本部・幹事会の会議の開催	本部は生涯学習推進のための基本方針を決定する。幹事は議案の調整、本部長の命を受けた事務の処理を行う。	津山市教育委員会	4回	庁内	市職員	-	-	生涯学習課	A	
76	4	生涯学習推進懇談会の開催	市民の有識者で構成し、津山市の生涯学習の推進に関し、必要な事項を調査・審議し、その結果を市長に提言する。	津山市教育委員会	1回	庁内	生涯学習推進懇談会委員	-	-	生涯学習課	A	
77	5	津山市 中学生が活躍！おかも創生を支える人づくり推進事業(公民館事業)	公民館を拠点に地域課題を学び、中高生の視点から解決策を考え、課題解決を進める事業。中学生、PTA、公民館長等を対象に、地域の課題解決やまちづくりの指導者になる地域人材を育成する研修会を開催する。	津山市教育委員会	①12月10日 ②2月19日 ③2月24日	①津山東公民館 ②③勝北中学校	小学生・中学生・地域の大人等	①14人 ②6人 ③105人	100人	生涯学習課	A	①指導者研修会「未来のいのちを育むということ ～響関者として子どもの時間に関わろう～」 ②勝北地区 地域で進める子どもの居場所づくり「サッカー選手と遊ぼう！ふれあい交流会」企画運営会議 ③勝北地区 地域で進める子どもの居場所づくり「サッカー選手と遊ぼう！ふれあい交流会」

平成29年度 生涯学習関連事業実施報告書

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H29実績 (参加人数等)	H29計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
78	5	津山市 中高生が活躍！おかもや創生を支える人づくり推進事業(NPO・地域団体事業)	NPOや美作大学などと連携し、中学生が大学生や地域の大人と出会い、語り合う場を設定することで、様々な生き方や価値観にふれる。指導者の養成とともに、地域の現状や課題、将来の地域づくりについて話し合うワークショップ(中学生だっぴ)を開催する。	津山市教育委員会	①12月8日 ②2月21日	①美作大学 ②加茂中学校	中学生・大学生・地域の大人	①16人 ②84人	80人	生涯学習課	A	NPO法人と連携・協働し、津山市立加茂中学校2年生を対象としたキャリア教育プログラム「中学生だっぴ」を開催した。
79	2	津山市生涯学習人材バンクの活用	各地域における講師・指導者の人材情報を集約し、民間や企業などの新たな人材の掘り起こしを行い、これらの情報を「津山市生涯学習人材バンク」として整備する。また岡山県生涯学習センター等他団体の同様の人材バンク等との連携・連動を模索する。	津山市教育委員会	—	—	一般市民	—	—	生涯学習課	A	登録(3月末):119[個人95、団体・企業24] 企業等に対しても登録の広報を行った。また、登録者を活用した講座を企画・実施し、県生涯学習センターとの情報の共有も行った。 なお、平成28年度末で登録期間が満了し、平成29年度に更新しない登録者が18[個人17、団体1]あった。平成29年度に新規登録者の増加を図り、平成29年度新規登録者14[個人10、団体・企業4])としたので、A判定とする。
80	5	つやま子ども未来塾	親子を対象に郷土の歴史や文化、産業などについて深く知る講座を高校や大学、企業などの協力を得て開催し、地域愛、郷土愛、親子愛などを育み、将来の地域貢献や定住につなげる。	津山市教育委員会	随時	市内各所	小学生(親子)等	1,107人	1,000人	生涯学習課	A	企業見学、津山産食材を使用した調理実習、市内の大学や高校での体験学習などを実施し、地元の産業・文化・歴史を学ぶことにより郷土への関心を深めた。また、公民館を中心とした地域学習の機会を増やし、地域ぐるみで将来を担う子供たちの育成を行った。
81	3	放課後子ども教室	放課後や土日、長期休業中などに主に小学生を対象に、地域の協力を得て居場所づくりを進め、体験学習や地域学習のほか、学習支援なども進める。	津山市教育委員会	随時	市内20ヶ所	小学生	20教室	20教室	生涯学習課	A	放課後、土日、長期休暇等に、地域の協力を得て、子どもたちの体験活動や学習活動の支援を行った。
82	1	生涯学習講座	時代とともに変化する市民ニーズを調査し、多様なニーズに対応できるように学習プログラムを改善し、講座を開催する。	津山市教育委員会	①10月8日 ②12月17日 ③12月24日 1月27日	①市立図書館 ②グリーンヒルズ津山リージョンセンター ③市立図書館	一般市民	① 50人 ②351人 ③ 70人	150人	生涯学習課	A	①夏目漱石生誕150年記念講演「夏目漱石あれこれ」 ②岡山理科大学・倉敷芸術科学大学キッズイベントin津山 ③中国文化あれこれ
83	1	陶芸教室	各種陶芸教室や、学校や幼稚園などへの出前講座	津山市教育委員会	随時	勝北陶芸の里工房 市内小学校等	一般市民 小学生等	518人	500人	生涯学習課	A	講師:花岡勉・雄杉会 干支作りなどの季節の行事に関連した作品づくりや、学校、老人施設などで出張陶芸を行い、ものづくりの楽しさを体験し、生涯学習のきっかけづくりとした。 講座:6日、のべ104人 出張陶芸教室:23回、のべ414人
84	1	生涯学習情報紙「まなびい」発行	市内で開催される生涯学習講座や教室の情報を冊子にまとめ配布することにより、学習機会の提供を行い、生涯学習の振興を図る。	津山市	毎年4月発行	公民館等	一般市民	1回	1回	生涯学習課	A	市内で開催される生涯学習講座や公民館講座の情報を全戸配布することができ、学習機会の提供を行うことができた。

平成29年度 生涯学習関連事業実施報告書

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H29実績 (参加人数等)	H29計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
85	3	青年学級	知的障害者(青年)とボランティアが毎月様々な学習活動に取り組み、知的障害者の生涯学習の振興を図る。	青年学級	毎月第4の土曜日又は日曜日。また運営委員会を毎月第3の土曜日または日曜日	公民館等	16歳以上の知的障害者とボランティア	のべ340人	のべ300人	生涯学習課	A	ものづくりや簡単な調理実習など、さまざまな学習活動に取り組めた。
86	1	大人のまなびい教室	生涯学習の一環として、体験学習や講義を通して、学ぶ楽しさと地域の魅力を再発見する。また、学んだことを受講者が地域や家庭に持ち帰り、それを広める。	津山市教育委員会	7月19日 8月23日 9月20日 10月25日	市内各所	市民	のべ114人 (4回)	30人/回	生涯学習課	A	市内の施設を見学したり、講座で学ぶ地域の魅力を理解し、生涯学習のきっかけづくりとなった。4回連続講座として、募集定員30人に対し47人の応募あり全員が受講。当日欠席はあったが、A判定とする。
87	5	「明日の津山を考える」青年公開討論会	毎回、時勢のテーマを設定のうえ議論を深め、青年の社会参加と地域の活性化を図る。	津山市青年団体連絡協議会	11月7日 2月23日	庁内	青年	2回	2回	生涯学習課	A	11月の討論会では地域で活躍する高校生に参加してもらい、若者の視点から津山の現状や未来について話し合うことができた。2月の討論会では成人式実行委員を含む学生の新成人と、津山市役所で働いている社会人の新成人で議論をしてもらい、実りある討論会となった。参加者:42人(2回)
88	5	美作学講座	美作大学との包括連携協定に基づき、共催で美作学講座を開催する。平成29年度テーマ:津山市史関連研究から	津山市教育委員会・美作大学	6月18日 8月26日 10月22日 12月9日	美作大学	一般市民	208人	300人	生涯学習課 文化課	B	台風等の影響もあり参加者が目標を下回ってしまったが、編さん中の新しい津山市史に関連した講座で、美作地域について深く知るきっかけとなっているので、B判定とする。
89	3	つやまっ子読書プラン推進事業	音読大会や読書インタビューなど子どもの読書活動の大切さを啓発する。また、読み聞かせボランティアや指導者の育成などを行う。	津山市教育委員会	随時	市内	一般市民	238人	120人	生涯学習課	A	本を読まなくなる小学校高学年や中学生や、乳幼児とその保護者向けなど、それぞれ対象に合わせたイベントを実施し、絵本や物語に触れるよいきっかけとなった。
90	3	リクエスト大学	市民の注文に応じて、市職員を派遣する。市職員が講師となり、市が行っている仕事の中で、市民が聞きたい、知りたいことを届ける。	津山市	随時	市内	一般市民	14,657人	15,000人	生涯学習課	A	
91	3	つやまっ子野外塾	子どもたちが、野外活動の基礎的な技術を習得し、キャンプを通じて実践し、様々な体験活動を通じて友情を深めながら心身ともに成長することを目指す。	津山市子ども会連合会	年4回 (5月13日、6月4日、7月1日、8月11日～13日)	中央公民館他	小学校4年生～6年生	43人	50人	生涯学習課	B	
92	1	子どもまつり事業	参加関連団体等と連携し、子どもたちの健全育成を図り、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興と地域の活性化に寄与する。	津山市子どもまつり実行委員会	年1回 7月29日(土)	グリーンヒルズリージョンセンター	幼児、小学生、保護者	1,500人	1,500人	生涯学習課	A	
93	3	津山っ子こころのふれあいトーク	大人と中学生との意見交換を通じて、健全育成活動の充実を図る。	津山っ子を守り育てる市民の会	年1回 12月9日(土)	津山総合福祉会館	成人 中学生	120人	150人	生涯学習課	B	
94	1	こころの子育てフォーラム	子どものこころの問題に焦点をあて、子どもたちが「生きる力」を身につけられるように、子育てをする人や教育に関わる人が一緒に考えるための講演会	津山市教育委員会	11月19日	津山中央公民館	市民	50人	50人	生涯学習課 鶴山塾	A	講師の先生ご自身の体験談や具体的な事例を交えながら、子どもの健やかな心を育てるためにはどのような支援が必要かをわかりやすく説明していただいた。

平成29年度 生涯学習関連事業実施報告書

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H29実績 (参加人数等)	H29計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
95	3	生涯学習まつり・公民館文化祭	生涯学習の普及・啓発のため、市民団体と協働して講演会や体験教室などを開催する。(市内23公民館)	津山市教育委員会・市内公民館実行委員会	5月、10月、11月、2月、3月	市内公民館ほか	一般市民	22,085人	23,000人	生涯学習課	A	
96	3	市内公民館での主催講座・自主講座	市民の学習ニーズを把握し、学習機会を提供する。	津山市教育委員会・市内公民館実行委員会	通年・随時	市内公民館	一般市民	のべ353,212人	のべ36万人	生涯学習課	A	
97	5	市内公民館での歴史講座	地域に埋もれた歴史資産を掘り起こすことで郷土の歴史への認識を新たに、郷土への愛着を深める。	津山市教育委員会・市内公民館実行委員会	通年・随時	市内公民館ほか	一般市民	1,463人	1,400人	生涯学習課	A	
98	4	公民館運営への市民参画	津山市公民館運営審議会や市内各公民館活動推進協議会で、公民館運営についての市民意見を聴取する。(市内23公民館)	津山市教育委員会・市内公民館実行委員会	随時	市内公民館	委員	373人	350人	生涯学習課	A	
99	1	図書館まつり	生涯学習の普及・啓発や図書館利用・読書推進のため市民団体と協議し、講演会や体験教室・子ども向けの読み聞かせなどを開催する。	津山市教育委員会	8月19日～20日	津山市立図書館(本館)	全ての利用者	入館者(2日間)3,299人 行事参加者907人	入館者(2日間)3,000人 行事参加者300人	図書館	A	講演会やおはなし会を中心とした昼の部と、夜の図書館、ライブラリーコンサート、ミュージカルを夜に開催し、多くの参加者が集まり大人から子どもまで楽しめるイベントとなった。8月20日には来館者数700万人達成セレモニーを開催した。
100	1	津山市を調べる学習コンクールの開催	児童・生徒の、津山への愛着心を育てるため、「生きていく力」を養うため、津山に関する調べ学習を行う場を設け、その成果を募集しコンクールを開催する。	津山市教育委員会	平成29年度	津山市立図書館 学校図書館 文化課各施設等	小・中学生	121人	100人	図書館 生涯学習課 文化課 学校教育課 教育総務課	A	コンクール説明会1回、現地勉強会4日、指導者勉強会1回、サポート相談会6日、市内での地域コンクールを経て2作品を上位コンクールに応募した。
101	1	自動車文庫推進事業	図書館遠隔地、小学校、幼稚園、老人施設、集客施設等を中心に定期的巡回し、読書推進を図る。	津山市教育委員会	通年、毎月	市内全域	一般市民 生徒、園児 教職員	貸出冊数 40,709冊	貸出冊数 40,000冊	図書館	A	市内小学校、公民館を中心に巡回、新たに高野小学校への巡回を始め利用者から好評を得ている。
102	1	健康セミナー事業	健康を題材として、食育、運動など多角的テーマで講演会を開催、関連本の紹介や健康関連コーナーを常設し、市民生活に役立つ情報提供を推進する。	津山市教育委員会	通年、随時(講演会) 7月5日	津山市立図書館内	一般市民	25人	25人	図書館	A	健康増進課とタイアップし、ダイエットと糖尿病予防に関するセミナーを開催した。大変分かりやすく家族にも伝えるなどの声も多く聞かれた。
103	2	ボランティアグループとの連携	ボランティアグループなどとの連携による読み聞かせやお楽しみ会を開催する。	津山市教育委員会	通年・随時	津山市立図書館内	ボランティアグループ及びボランティア活動の意志がある個人	582人	500人	図書館	A	ボランティアグループによる小学校、保育園等での読み聞かせや、図書館内でのお楽しみ会を実施。またボランティア活動PRのためのボランティアまつりを初開催した。
104	3	津山中央病院医療情報プラザとの相互協力事業	来館困難な入院患者やその付き添い親族を対象に同病院医療情報プラザへ団体貸出を行うとともに、医療健康情報等の共有化を推進する。	津山市教育委員会	通年、随時 講演会 12月6日	津山市立図書館(本館)及び津山中央病院医療情報プラザ	一般市民及び同病院入院患者等	講演会36人 貸出冊数 1,098冊	講演会30人 貸出冊数 1,000冊	図書館	A	中央病院との連携セミナーとして認知症予防に関するセミナーを開催した。認知症についての全体像が見えた。濃い内容で大変良かったとの声を多数いただいた。

平成29年度 生涯学習関連事業実施報告書

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H29実績 (参加人数等)	H29計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
105	3	ビジネス支援事業	ビジネス関連の課題解決に向け、市民・利用者の就職活動、起業、能力アップを支援するため、就職支援セミナー、各種講演会、情報コーナーの拡充を推進する。	津山市教育委員会	通年・随時 講演会2回 10月14日 2月28日	津山市立図書館内	一般市民	61人	80人	図書館	C	NISAの運用に関するセミナーと、広告発信術に関するセミナーを開催した。時代に沿った内容であったが、広告不足もあり目標としていた参加者数には達しなかった。
106	3	幼・保・小・中との連携による読書推進	幼・保・小・中との情報交換に努め、児童・生徒の読書支援のため、読み聞かせ、大量・長期の貸し出し、調べ学習サポート、総合学習など新学習指導要領を反映できるような支援を継続的に推進する。	津山市教育委員会	通年・随時	津山市立図書館内	学校関係者・保育所関係者・児童・生徒	59,277冊	貸出冊数 60,000冊	図書館	A	市内小中学校への団体貸出や配本所貸出、幼稚園・保育園への出張読み聞かせ実施。
107	3	市内高校・大学との連携事業(図書館相互協力の推進)	美作大学・津山高専・市内の全高校との相互貸借システムを維持・発展させる。また、両校の講師派遣を受けて講座・講演会を実施する。	津山市教育委員会	通年・随時	津山市立図書館内	高校・高専・大学関係者・学生	—	—	図書館	A	美作大学・津山高専との三館連携が来年度10周年を迎えるにあたり記念事業計画を推進し、1月21日に記念式典等を開催し好評をいただきました。また、相互貸借のシステムも維持されていることからA判定とする。
108	3	放送大学岡山学習センター津山教室充実事業	県北在校生の履修科目の教材の収集・配架を行い、利便性の向上を図るとともに、同大学教授陣による講座を定期的に開催し、市民へ更なる生涯学習を推進する。	津山市教育委員会	通年・随時 講演会2回 6月25日 2月4日	津山市立図書館内研究室	一般市民 在学生	79人	60人	図書館	A	講座2回実施 毎回、参加者から満足度の高いアンケート結果が得られた。
109	3	三館連携10周年記念事業	津山市立図書館、美作大学図書館及び津山工業高等専門学校図書館の相互協力に関する協定締結10周年を記念する事業を実施することにより、利用者等の読書活動向上と、教育・学術及び文化の発展に寄与する。	三館連携10周年実行委員会	1月20日(土)	美作大学	一般市民 在学生	200人	200人	図書館	A	記念事業として、記念式典、記念講演会、パネルディスカッション、ビブリオバトル表彰式を開催した。多くの市民、学生、関係者が集い、内容についてもとても有意義なものであった等の意見を多くいただいた。
110	5	観光交換展示事業	市外の各図書館とタイアップし、当市の文化・観光情報等他都市のそれを各館相互に展示、幅広く情報発信するとともに観光客誘致の一助とする。	津山市教育委員会	通年、随時	津山市立図書館内	一般市民	—	—	図書館	B	横浜市で開催された図書館総合展において津山市のプレゼン、展示を行い、全国図書館関係者・企業へPRを行った。市立図書館では和気町の観光と岡山県自然保護センターの活動を紹介展示した。一定の活動を行えたためB判定とする。
111	1	津山国際総合音楽祭の開催	幅広いジャンルのコンサートや市民参加の企画等で構成される音楽祭。平成29年秋に第10回を開催した。	国際総合音楽祭委員会	10月21日～ 11月26日	津山文化センター、ベルフォーレ津山など	一般市民	10,198人	12,000人	文化課	B	プレ期間も含めた開催期間(85日間)中、クラシックからポピュラー、日本音楽など多彩な19のコンサートを開催した。今回は次世代の創造者育成のため、ジュニアオーケストラの初舞台や「つやま若い芽のコンサート」など若人に光りを当てた舞台を多く開催した。
112	1	西東三鬼賞	津山出身の俳人 西東三鬼(4/1没)を顕彰し、三鬼俳句の精神を継ぐ新しい感覚の俳句文芸の振興を目指し、広く作品を募集する。平成29年度で25回目を迎えた。	西東三鬼賞委員会	(表彰式)平成30年3月31日	市内ホテル会場	全般	770人	760人	文化課	A	北海道から沖縄まで全都道府県から、またアメリカからも広く投句があった。今回も西東三鬼の句風を受け継ぐ現代俳句が多く、選考委員による選考の結果、西東三鬼賞他入賞作品が選出された。
113	1	津山市写真展	第1回から8回までは「みまさかの貌」、第9回から13回までは「作州人」、第14回からは「みまさかの現在(いま)」をテーマに開催。平成29年度で26回目を迎えた。	津山市教育委員会	12月1日～7日	市立文化展示ホール	一般市民	709人	650人	文化課	A	美作地域の現在の姿を写真として残し、それを現在に生きる人に提示し後世に遺すため開催し、今回も県北写真連盟からの後援を受け、多数の応募作品をいただき盛況に開催した。

平成29年度 生涯学習関連事業実施報告書

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H29実績 (参加人数等)	H29計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
114	1	新春津山川柳大会	県北を中心に県内一円から川柳愛好家が集う。平成29年度で37回目を迎えた。	津山市教育委員会	1月21日	津山総合福祉会館	一般市民	145人	150人	文化課	A	寒い時期の開催ではあるが、今年も県内外から多くの川柳愛好家が集い、言葉を駆使して名柳を紡ぎ、交流を深めた。
115	1	文化講演会	「箕作の名をもらった魚たち」 講師：神奈川県立生命の星・地球博物館 学芸部長 瀬能 宏 先生	津山市教育委員会	4月23日	津山洋学資料館	一般市民	75人	80人	文化課 洋学資料館	B	箕作佳吉に因んだ名前を持つ動物の多さに、参加者からは驚きの声があがっていた。
116	1	洋学資料館春季企画展 「箕作家の人々―秋坪の4人の息子たち―」	箕作阮甫の孫で、東京帝国大学の教授などを歴任し、学問の面から日本の近代化を支えた奎吾・大麓・佳吉・元八兄弟の生涯と業績を紹介する。	津山市教育委員会	3月4日～6月18日	津山洋学資料館	一般市民	3,083人	3,000人	文化課 洋学資料館	A	兄弟で揃って大きな功績を残していることに、来館者は感銘を受けていた。
117	1	洋学資料館夏季企画展 「和時計―西洋の技、日本の心―」	西洋の技術を取り入れ、独自の改良を行った和時計は日本人の実証的思考を育てた。蘭学とともに、日本の近代化を支えた機械技術―和時計を紹介する。	津山市教育委員会	7月1日～9月24日	津山洋学資料館	一般市民	2,059人	2,000人	文化課 洋学資料館	A	江戸時代から続く日本の技術力の高さに、来館者からは感心の声があがっていた。
118	1	洋学資料館秋季企画展 「絵画史料に見る江戸の洋楽事始」	津山国際総合音楽祭の開催に合わせ、日本における洋楽研究の先駆者である宇田川榕菴を中心に、長崎版画や横浜絵などの絵画史料を通じて江戸時代の西洋音楽の受容を紹介する。	津山市教育委員会	10月7日～11月5日	津山洋学資料館	一般市民	1,329人	1,500人	文化課 洋学資料館	A	榕菴が化学や植物学だけでなく、音楽の分野も学術的に研究していることに 来館者から驚きの声があった。 ※他館の資料を借用しての展示のため、会期が十分にとれなかったが、オランダゆかりのコンサートも館内で行われた。一日当たりの来館者数は他の企画展の倍近くであったため、A判定とする。
119	1	洋学資料館冬季企画展 「日本の化学の夜明けと津山の洋学者」	『舎密開宗』の刊行開始180周年に合わせ、宇田川榕菴や久原躬弦ら、日本の化学史に大きな足跡を残した津山の洋学者たちを紹介する。	津山市教育委員会	11月18日～2月25日	津山洋学資料館	一般市民	1,995人	2,000人	文化課 洋学資料館	A	榕菴以降の、日本の化学の飛躍的な進歩に、来館者から多くの感嘆の声があった。
120	5	江戸時代の化学書からの実験	津山高専、津山高校との協力により、宇田川榕菴が著した日本初の化学書『舎密開宗』に記されている化学実験を再現。児童生徒に参加・見学させることで、自然科学や郷土史への関心を高める。	津山市教育委員会	8月5日	津山洋学資料館	小学生	42人	30人	文化課 洋学資料館	A	参加した小学生は積極的に実験に参加し、化学に興味を持った子どもたちが多かった。
121	1	ヒンデローペン絵付け体験教室	洋学資料館の展示室装飾に携わった永江絹子氏の協力により、ヒンデローペンの絵画技法による絵付け体験教室を開催し、オランダや洋学への関心を高める。	津山市教育委員会	7月30日	津山洋学資料館	一般市民	17人	20人	文化課 洋学資料館	B	参加者はオランダの伝統工芸に関心を持ち、真剣に作品作りに取り組んだ。
122	1	親子でヒンデローペンの作品づくり	洋学資料館の展示室装飾に携わった永江絹子氏の協力により、ヒンデローペンの絵画技法による絵付け体験教室を開催し、オランダや洋学への関心を高める。	津山市教育委員会	7月29日	津山洋学資料館	小学生・保護者	23人	20人	文化課 洋学資料館	A	参加者はオランダの伝統工芸に関心を持ち、親子で協力して作品作りに取り組んだ。

平成29年度 生涯学習関連事業実施報告書

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H29実績 (参加人数等)	H29計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
123	1	オムニバス講演会	資料館職員が日頃の研究成果を報告することで、洋学への理解と関心を深める。	津山市教育委員会	1月28日	津山洋学資料館	一般市民	85人	60人	文化課 洋学資料館	A	菊池大麓の没後100周年を記念し、その人物像について職員3人が各テーマで報告した。
124	1	津山洋学資料館だより「洋学資料館」刊行事業	洋学資料館で実施した事業の報告や、資料紹介を掲載し、市民の洋学学習に資する。	津山市教育委員会	年2回	津山洋学資料館	一般市民	2回	2回	文化課 洋学資料館	A	No.21、22を刊行。実施事業の報告や、資料紹介をわかりやすく行い、市民の洋学学習に役立てた。
125	1	洋学研究誌『一滴』刊行事業	広く洋学全般に関する論文を掲載、市民の洋学学習に資する。	津山市教育委員会	年1冊	津山洋学資料館	一般市民	1冊	1冊	文化課 洋学資料館	A	第25号を刊行。論文4題を掲載し、市民の洋学学習に役立てた。定期購読者も多い。
126	1	自分だけの『解体新書』を作ろう	川崎医科大学現代医学教育博物館の協力により、臓器標本のスケッチなどのワークショップを開催し、人体への関心を深める。	津山市教育委員会	8月26日	津山洋学資料館	小学生・中学生	17人	—	文化課 洋学資料館	A	初めて臓器標本を見る子どもたちは、最初は怖々とした様子だったが、次第に興味津々に触ったり、観察したりしていた。保護書も熱心に臓器の説明を聞いていた。 ※今年度初めて実施した事業であったが、十分な成果があったと思われる。
127	5	子ども歴史講座 勾玉をつくろう	古代の装飾品である勾玉づくりを体験することによって、古代の技術に触れ、歴史への理解を深める。	津山市教育委員会	夏休み期間中	津山郷土博物館	小学生	60人	60人	文化課 郷土博物館	A	古代の装飾品である勾玉づくりを体験することによって、古代の技術に触れ、歴史への理解を深めた。
128	5	子ども歴史講座 トンボ玉をつくろう	古代の装飾品であるトンボ玉づくりを体験することによって、古代の技術に触れ、歴史への理解を深める。	津山市教育委員会	夏休み期間中	津山郷土博物館	小学生	20人	20人	文化課 郷土博物館	A	古代の装飾品であるトンボ玉づくりを体験することによって、古代の技術に触れ、歴史への理解を深めた。
129	5	夏休み 子ども歴史講座	弥生土器を作成体験することによって、地域の歴史への共感と理解を深める。	津山市教育委員会	夏休み期間中	津山郷土博物館	小学生	30人	30人	文化課 郷土博物館	A	弥生土器を作成体験することによって、地域の歴史への共感と理解を深めた。
130	5	美作の文化財めぐり	美作地域を中心としながら、文化財や歴史遺産を訪ねることによって地域の歴史に対する理解を深める。	津山市教育委員会	年3回	美作地域及びその周辺地域	成人	60人	60人	文化課 郷土博物館	A	美作地域を中心としながら、文化財や歴史遺産を訪ねることによって地域の歴史に対する理解を深めた。
131	1	津山郷土博物館だより「津博」刊行事業	津山郷土博物館における実施事業の紹介や、学芸員による調査研究の最新情報を提供することにより、市民の学習に資するもの。	津山市教育委員会	年4回	津山郷土博物館	成人	4回	4回	文化課 郷土博物館	A	津山郷土博物館における実施事業の紹介や、学芸員による調査研究の最新情報を提供することにより、市民の学習に資することができた。
132	1	地域史学習講演会支援事業	学芸員が地域のグループや町内会などに出向いて、美作地域史に関する講義講演を行い、市民のグループ学習に資するもの。	各種団体	随時	市内各地	成人	1,500人	1,500人	文化課 郷土博物館	A	学芸員が地域のグループや町内会などに出向いて、美作地域史に関する講義講演を行い、市民のグループ学習に資することができた。
133	1	文化財調査報告会	外部講師による文化財全般の講演、市職員による文化財調査の報告。	津山市教育委員会	3月17日	リージョンセンターベンタホール	一般市民	80人(1回)	80人/回	文化課 弥生の里文化財センター	A	今年度から作成する歴史文化基本構想関連の講演等をおこない、事業概要等を市民に周知した

平成29年度 生涯学習関連事業実施報告書

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H29実績 (参加人数等)	H29計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
134	1	美作考古学談話会	職員による考古学関係の講座、遺跡見学など。	津山市教育委員会	6月4日 10月28日 1月20日 3月31日	文化財センター、津山城跡	一般市民	のべ8人	のべ11人	文化課 弥生の里文化財センター	C	5回中4回しか実施できていないが、2回は遺跡の発掘調査現地説明会を兼ねていて、談話会会員以外の参加があったので、概ね達成している。
135	1	体育協会加盟種目団体スポーツ教室	野球・柔道・陸上等の体育協会加盟種目団体が各種教室を開催することにより、小・中学生の健全育成を図る。	各種目団体	通年	市内各所	小・中学生・一般	800人	各教室 10～50人程度	スポーツ課	A	年間を通じ実施。全11教室の生徒数約800名(各教室ごとに開催日数は異なる)
136	1	モーニングスポーツサービス(卓球・バドミントン)	市民が自主的にスポーツに取り組むことにより、健康づくり・体力づくりを図る。	スポーツ課他	通年	津山総合体育館他	一般市民	1,033人 (82回)	各回12人程度 (100回)	スポーツ課	B	年間を通じ毎週火・金曜日に実施。年間に延べ1033名参加。
137	1	つやま市民スポーツ祭	生涯スポーツ社会の実現に向けて、市民がスポーツを身近に感じてもらう機会を提供することにより、健康増進に寄与する。	つやま市民スポーツ祭実行委員会	10月第2日曜	津山陸上競技場 津山スポーツセンター	一般市民	8,000人	8,000人程度	スポーツ課	A	市民スポーツ祭として実施。約8,000人参加。
138	1	ニュースポーツ教室等	市民がスポーツに親しむ環境を提供し、ニュースポーツ・グラウンドゴルフ・にこにこトレーニング・親子チャレンジ教室を通じて生涯スポーツの振興を図る。	津山スポーツ振興財団	春季・秋季に 8～10週	津山総合体育館他	幼児～高齢者	4,615人 (158回)	各回30～50人程度 (170回)	スポーツ課	B	各種スポーツ教室に年間で延べ4615人が参加。